



# 長崎市農業振興計画〔後期計画〕

【平成 29 年度～平成 32 年度】





## 長崎市農業振興計画〔後期計画〕の策定にあたって

長崎市の農業は、農地の大半が急傾斜の山腹に階段状に展開し、平坦地が少ないという地理的に厳しい条件にありますが、農業に携わる皆様の創意工夫と努力の積み重ねにより、生産量日本一を誇る「びわ」、平成24年度全国和牛能力共進会で優秀な成績を収めた「長崎和牛・出島ばらいろ」をはじめ、施設園芸によるいちご・アスパラガス・花き等のほか、豊富な種類の農産物が生産されています。

今日の食料・農業・農村をめぐる情勢は、農業従事者の減少、農地の荒廃化、気候変動の進行、生産コストの増大及び流通の多様化など農業構造の変化に加え、人口減少・超高齢化社会の進展、消費の多様化及びTPP等によるグローバル化など、社会的要因も大きく変化しています。

このような情勢のなか、長崎市の農業につきましても、厳しい状況にありますが、農産物（畜産物を含む）販売額が増加傾向にあり、また、交流人口の拡大も見込まれるなど、農業の振興を図るうえで好機であるといえます。

長崎市では、平成28年度に「第四次総合計画」後期基本計画がスタートし、農業分野におきまして、「農林業に新しい活力を生み出します」を基本施策として掲げています。これに加えて、このたび、平成24年7月策定の長崎市農業振興計画の前期取組み成果等を検証し、長崎市農業振興計画〔後期計画〕を策定しました。

長崎市農業振興計画〔後期計画〕は、平成29年度から平成32年度までの計画であり、多様な主体として関係者の相互連携を図りながら、地域ブランドの育成を推進する「産地づくり」、安心して農業を営む環境づくりを進める「地域づくり」、意欲ある農業者の育成確保を図る「人づくり」、多様な主体の交流促進により食関連産業を活性化する「交流づくり」の4点を柱に、担い手が継続できる農業の実現をめざし、取組みを進めていくこととしています。

今後は、この計画を農業振興の基本指針として、市民の皆様をはじめ関係各位のご理解とご協力のもと施策の展開を図り、農業の振興と長崎市の魅力向上につなげていきたいと考えています。

長崎市でも農業従事者の減少のみならず、人口減少対策が課題となっていますが、長崎市の戦略として、長崎ならではの長崎の強みを生かし、「交流の産業化」による地方創生にむけた取組みを進めています。長崎市の農業や農産物につきましても、交流のきっかけとなる地域資源でありますので、関係団体との連携を図りながら、長崎創生の一翼を担いたいと考えています。

結びに、この計画の策定にあたり、貴重なご意見、ご審議をいただきました長崎市農業振興計画審議会委員の皆様をはじめ、ご協力やお力添えをいただいた皆様に心から感謝申し上げます。

平成29年（2017年）3月



長崎市長 田上 富久

# 目 次

<b>第Ⅰ章 長崎市の農業の現状</b>	<b>1 ~ 24</b>
1 計画策定の背景	3 ~ 5
1-1 策定の主旨	3
1-2 計画の位置づけと計画期間	4 ~ 5
2 長崎市の概況	6 ~ 8
2-1 沿革	6
2-2 定住人口・交流人口	7
2-3 市場流通	7
2-4 食文化	8
2-5 運輸	8
3 長崎市の農業の現状	9 ~ 21
3-1 主な農産物の生産状況	9
3-2 農家戸数の推移	10
3-3 主副業別販売農家数	11
3-4 農業就業人口の推移	12
3-5 販売金額別農業経営体数	13
3-6 経営耕地面積規模別経営体数	14 ~ 15
3-7 経営耕地面積と耕作放棄地の推移	16
3-8 農産物販売実績の推移	17
作物別の現状（マップ・果樹・普通作物・野菜・花き・畜産）	18 ~ 21
4 長崎市の農業が抱える課題	22 ~ 24
4-1 農業者の高齢化と担い手減少	22
4-2 耕作放棄地の活用	22
4-3 有害鳥獣による被害の拡大	22
4-4 農地・営農の課題	23
4-5 生産と消費	23
4-6 農業に対する理解	23
<b>第Ⅱ章 後期計画の施策体系</b>	<b>25 ~ 36</b>
1 前期計画の課題・検証及び今後の方向性	26 ~ 30
前期計画施策の指標と実績	26 ~ 27
個別施策ごとの課題と検証	28
前期計画の体系	29
今後の方向性	30
2 後期計画における農業のめざすべき姿	31 ~ 33
施策と農業のめざすべき姿	31
2-1 地域ブランドの育成 ～「産地づくり」～	31
2-2 安心して農業を営む環境づくりの推進 ～「地域づくり」～	32
2-3 意欲ある農業者の確保 ～「人づくり」～	32
2-4 多様な主体の交流促進による食関連産業の活性化 ～「交流づくり」～	33
3 後期計画の体系	34 ~ 35

<b>第Ⅲ章 個別施策と取組方針・取組内容</b>	<b>37 ~ 84</b>
<b>個別施策Ⅰ 地域ブランドの育成を推進します</b>	<b>38 ~ 47</b>
展開方針、背景・現状、課題、方針の考え方、達成にむけた取組イメージ	38 ~ 40
取組Ⅰ-1 地域ブランドの生産拡大	41 ~ 42
取組Ⅰ-2 地域特産の農産物の生産基盤の充実	43 ~ 46
重点的取組み 既存産地の充実と新たな生産基盤整備の推進	47
<b>個別施策Ⅱ 安心して農業を営む環境づくりを進めます</b>	<b>48 ~ 62</b>
展開方針、背景・現状、課題、方針の考え方、達成にむけた取組イメージ	48 ~ 51
取組Ⅱ-1 人・農地プランの実現	52 ~ 53
取組Ⅱ-2 農村地域の資源を活かした地域づくり	54 ~ 55
取組Ⅱ-3 有害鳥獣対策による農作物被害の防止	56 ~ 57
取組Ⅱ-4 農地の有効活用	58 ~ 59
取組Ⅱ-5 農業施設整備の推進	60 ~ 61
重点的取組み 初期投資・生産コストの縮減にむけた取組み	62
<b>個別施策Ⅲ 意欲ある農業者の育成確保を図ります</b>	<b>63 ~ 70</b>
展開方針、背景・現状、課題、方針の考え方、達成にむけた取組イメージ	63 ~ 65
取組Ⅲ-1 地域農業のリーダー育成	66 ~ 69
重点的取組み 新規就農・労力支援・遊休農地対策の体制の充実	70
<b>個別施策Ⅳ 多様な主体の交流を促進し、食関連産業を活性化します</b>	<b>71 ~ 80</b>
展開方針、背景・現状、課題、方針の考え方、達成にむけた取組イメージ	71 ~ 73
取組Ⅳ-1 新たな販路拡大や消費拡大の推進	74 ~ 75
取組Ⅳ-2 長崎ならではの食材や食文化の魅力の発信	76 ~ 77
取組Ⅳ-3 食育体験の推進による食に対する意識の醸成	78 ~ 79
重点的取組み 多様な主体との連携による外貨獲得	80
<b>後期計画の取組指標</b>	<b>81 ~ 84</b>
<b>第Ⅳ章 主な品目別の課題と振興方策</b>	<b>85 ~ 92</b>
<b>1 果樹</b>	<b>86 ~ 87</b>
1-1 露地びわ	86
1-2 ハウスびわ	86
1-3 みかん・中晩柑	87
1-4 もも・なし・ぶどう	87
1-5 ザボン・ゆうこう	87
<b>2 野菜</b>	<b>88 ~ 89</b>
2-1 いちご	88
2-2 アスパラガス	88
2-3 ミニトマト	88 ~ 89
2-4 野菜類（ばれいしょ・しょうが・新規野菜・伝統野菜等）	89
<b>3 花き</b>	<b>90</b>
3-1 菊	90
3-2 草花（トルコギキョウ・きんぎょそう・水仙・ユリ等）・花木	90
<b>4 畜産</b>	<b>91</b>
<b>5 農産物直売所</b>	<b>91</b>

<b>第V章 地域別の方向性</b>	93 ~ 116
地域農業・農村（人・農地プラン）のまちづくりの展開	94 ~ 108
地域農業・農村（人・農地プラン）の戦略的展開スキーム	96 ~ 98
茂木南部地区（千々・大崎・宮摺）	99
茂木北部地区（北浦・田手原・太田尾・飯香浦・茂木）	100
東長崎地区（矢上・日見・戸石・古賀）	101
三重地区（三重・式見）	102
旧市西部地区（手熊・柿泊）	103
その他旧市地区（旧市中央部・旧市南部・旧市北部）	104
外海地区（神浦・黒崎）	105
三和地区（川原・宮崎・藤田尾・為石・蚊焼・布巻）	106
野母崎地区（高浜・野母・脇岬・樺島）	107
琴海地区（西海・村松・長浦・戸根・戸根原・形上・尾戸）	108
<b>戦略モデル地区の人・農地プラン「整備計画」の展開</b>	109 ~ 116
整備計画の展開	109
平地型（琴海地区：戸根集落）	110
平地型（琴海地区：戸根原・長浦集落）	111
平地型（琴海地区：手崎集落）	112
中山間地域型〔果樹〕（茂木南部：大崎集落）	113
中山間地域型〔施設〕（茂木北部：太田尾集落）	114
中山間地域型〔施設〕（茂木北部：飯香浦集落）	115
中山間地域型〔露地〕（外海：神浦集落）	116
<b>第VI章 計画の推進体制</b>	117 ~ 124
1 計画の推進について	118
2 関係者等の役割	119 ~ 122
2-1 生産者・地域の役割	119
2-2 JA・関係団体等の役割	119
2-3 事業者（加工・流通・販売・食関連産業等）の役割	120
2-4 市民（消費者）の役割	120
2-5 長崎市農業委員会の役割	121
2-6 一般財団法人長崎市地産地消振興公社の役割	121
2-7 長崎市の役割	121
2-8 長崎県への期待	122
2-9 国への期待	122
3 計画の推進体制イメージ	123
<b>第VII章 参考資料</b>	125 ~ 160
1 計画検討の経緯	126
2 「長崎市農業振興計画審議会」名簿	127
長崎市農業振興計画審議会規則	128

3	審議会、関係機関及び地区別懇談会での意見	129 ~ 131
3-1	長崎市農業振興計画審議会	129 ~ 130
3-2	人・農地プラン地区別懇談会	130
3-3	関係機関	130
3-4	パブリックコメントの募集	131
4	営農類型ごとの効率的かつ安定的な農業経営の指標	132 ~ 134
5	市政モニターアンケート調査結果	135 ~ 143
	アンケート調査の概要	135
5-1	回答者の性別	136
5-2	回答者の年齢	136
5-3	回答者の居住地	136
5-4	長崎市の農業のイメージ	137
5-5	長崎市の農業との関わり	138
5-6	農業や農村が果たす役割の重要度	139
5-7	農業への従事の意向	140
5-8	長崎市の特産品	141
5-9	農業の体験やツアーへの参加の意向	142
5-10	長崎市の農業施策への期待	143
6	ながさきの「食」市民意識調査結果	144 ~ 156
	市民意識調査の概要	144
	回答者属性（年齢・職業・家族構成）	145 ~ 146
	食料品の買い物の場所	146 ~ 147
	食料品選択のポイント	147
	「地産地消」の認知と理解	148
	「地産地消」の良さ	148 ~ 149
	地元生産物の購入頻度	149
	地元生産物購入時の問題点	150
	「地産地消」推進のための効果的な取り組み	151
	食料品購入の際に求める情報	152
	「食育の日」「食育月間」の認知度	153
	「食卓の日」の認知度と実施度	153
	長崎市内産農産物・加工品についての認知・購入	154
	長崎市内産農水産物を購入したい場所	155
	長崎市内産農水産物・加工品についての情報源	156
7	用語解説	157 ~ 160

